

富山県博物館協会年表

※各加盟館の開館等は、原則として協会設立以前のもののみを掲載した

※各加盟館の名称等は、原則として当時のものを用いた

※年表は「年」単位で作成、ただし加盟館の入退会については「年度」単位で記載した

※「年度」について、設立当初は4月1日から3月末日と厳密に捉えず、3月末にその年の総会を開催するなど、ゆるやかな運用をしていたようである

1913 大正2年

北陸本線が全線開通（米原～直江津）

8月、1府8県連合共進会が富山市で開催された際の第2会場として、魚津水族館開館（正式開館は9月。昭和19年、第二次世界大戦のため閉館）



1945 昭和20年

ポツダム宣言受諾 太平洋戦争終わる

1951 昭和26年

サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約が結ばれる

「高岡産業博覧会」開催

朝日町宮崎自然博物館、高岡市美術館開館

12月、「博物館法」公布（翌年7月29日、「富山県博物館の登録に関する規則」公布）

1952 昭和27年

学芸員の資格等を定める博物館法施行規則が制定され、文部省より県内初の学芸員資格者認定（高岡市立美術館・穴蔵俊雄 宮崎自然博物館・漆間元三、山本潔、太田弘、九里道守）

1954 昭和29年

「富山産業博覧会」開催

8月、定塚武敏（高岡市美術館）、九里道守（宮崎自然博物館）が東京芸術大学に派遣され40日間の学芸員講習を受ける

富山市立郷土博物館、魚津水族館（二代目）、魚津埋没林館開館

1955 昭和30年

「博物館法」一部改正（学芸員資格講習廃止、「博物館相当施設」に関する規定の明確化など）

1956 昭和31年

日本が国連に加盟

9月、国内最大級の口径40cmの望遠鏡を備えた富山市天文台が呉羽山にオープン（平成9年、富山市三熊に移転）



この頃「富山県博物館協議会」（現在の協会の前身）設立

・年に1、2度会合、事務局は県教委に置かれた

1958 昭和33年

第13回国民体育大会（富山国体）開催 富山県内でテレビ放送が始まる

1960 昭和35年

政府が「国民所得倍增計画」を決定

第2回北信越博物館協議会総会（富山大会）を開催

1961 昭和36年

イタイタイ病が公害問題に（1968年公害病に認定）

富山美術館（佐藤美術館）開館

1963 昭和38年

富山空港開港 黒部ダム完成 38豪雪

1964 昭和39年

富山県民会館美術館・博物館開館

1965 昭和 40 年

富山市民芸館開館
第 7 回北信越博物館協議会総会（富山大会）を開催

1966 昭和 41 年

「富山県博物館協会」設立
◇創立時加盟 高岡市美術館、富山県立郷土博物館、
富山市民芸館、富山県民会館美術館・博物館、魚津
水族館、河内美術館 **加盟6館**
・初代会長・江尻章、事務局・富山県立郷土博物館
・会費 1,000 円、予算 6,000 円、決算 6,000 円

1967 昭和 42 年

文部省による学芸員資格証明書交付の取りやめ

◇新規加盟 朝日町宮崎自然博物館、佐藤美術館
加盟8館
11 月 7 日、連絡協議会を富山県立郷土博物館で開催

1968 昭和 43 年

文部省の外局として文化庁設置 明治百年記念式典

「富山新港」開港

2 月 27 日、総会を富山県立郷土博物館で開催

1969 昭和 44 年

アメリカのアポロ 11 号が月面着陸に成功する

全国植樹祭が砺波市頼成山で開催

4 月 1 日、「富山県博物館協会規約」施行
6 月 27 日、協議会を富山県立郷土博物館で開催

1970 昭和 45 年

大阪万博が開催

◇新規加盟 二上山郷土資料館 **加盟9館**
2 月、初代会長の江尻章氏が亡くなる
2 月 25 日、総会を高岡市美術館で開催
・二代会長・定塚武敏、事務局・高岡市美術館
7 月 23 ~ 24 日、第 12 回北信越博物館研究協議会を
高岡市立博物館で開催



1971 昭和 46 年

立山黒部アルペンルートが全線開通

博物館法一部改正（文部大臣が行っていた「博物館相当施設」の指定は国の施設を除き、都道府県教育委員会が行うことに）

◇新規加盟 民俗資料館村上家、高岡市立博物館
加盟11館
4 月 1 日、富山県博物館協会規約を一部改正

1972 昭和 47 年

沖縄が日本に復帰 札幌冬季オリンピック開催

田中角栄通産大臣が「日本列島改造論」を発表

3 月 24 日、協議会を高岡市立美術館で開催
・予算 22,311 円、決算 4,868 円
11 月 17 日、協議会を高岡市立美術館で開催

1973 昭和 48 年

石油危機が起こる

「公立博物館の設置及び運営に関する基準」が文部大臣により告示

1 月、「富山県文化財・博物館分布地図」を県教委と共編・
発行、県内外に配布（1,000 部）
3 月 24 日、協議会を高岡市立
美術館で開催
4 月 12 日、総会を高岡市立美
術館で開催
10 月 9 日、協議会を富山県立
郷土博物館で開催



1974 昭和 49 年

◇新規加盟 魚津市立歴史民俗資料館、立山風土記の
丘資料館、相倉民俗館、利賀民俗館 **加盟15館**
4 月 23 日、総会を富山県立郷土博物館で開催
6 月 25 日、協議会を富山県民会館で開催
10 月 8 日、文化講演会を富山県民会館で開催

1975 昭和 50 年

文化財保護法改正（進展する開発事業からの埋蔵文化財保護制度の充実など）

◇新規加盟 上平村五箇山民俗館、重要文化財岩瀬家
加盟17館
4 月 25 日、総会を高岡市立博物館で開催

5月10日、6月14日、協議会を富山市立郷土博物館で開催

7月10日～11日、第17回北信越博物館研究協議会を呉羽ハイツで開催

8月11日、協議会を高岡市立博物館で開催

1976 昭和51年

第31回国体冬季大会（おおよま国体）開催

◇新規加盟 魚津埋没林博物館 **加盟18館**

3月19日、職員研修会を高岡市立博物館で開催

5月27日、総会を高岡市立博物館で開催

・予算 703,000円 決算 681,475円

・この年から県補助金を受ける（予算額9万円）

9月30日、協議会を高岡市立博物館で開催

11月12日、協議会を富山市郷土博物館で開催

1977 昭和52年

◇新規加盟 行徳寺 **加盟19館**

2月24日、協議会を高岡市立博物館で開催

3月16日、職員研修会を高岡市立博物館で開催

3月30日、「富山県美術館・博物館ガイド」を県教委と共編・発行（2,000部）

5月11日、総会を高岡市立博物館で開催

・県補助金10万円

8月5日、協議会を富山市立郷土博物館で開催

12月2日、協議会を高岡市立美術館で開催



1978 昭和53年

◇新規加盟 大谷和子こども美術館、富山県教育記念館博物館、本法寺、瑞龍寺、武田家、千光寺、井波歴史民俗資料館、富山市科学文化センター **加盟27館**

2月24日、協議会を高岡市立美術館で開催

3月16日、総会を高岡市立美術館で開催

3月20日、「富山県文化財・博物館等分布地図」を改訂再発行（県教委と共編・発行）

3月23日、「富山県立美術館への提言」を県知事、県教育委員会教育長あてに提出（県立美術館として基本的性格を堅持すること、今後の県立博物館設置の構想を明らかにすること、県立美術館は県内博物館の体系的整備の母体の役割を果たすべきことなど）

6月15日、協議会を高岡市立美術館で開催

1979 昭和54年

第二次石油危機起こる

◇新規加盟 滑川市立博物館、水橋郷土資料館、日本自動車博物館／退会 重要文化財岩瀬家 **加盟29館**

2月、協議会を高岡市立美術館で開催

3月10日、職員研修会を高岡市立博物館で開催

3月30日、『博物館協会会報』

創刊号を発行

6月22日、総会を高岡市立美術館で開催

・博物館協会規約を一部改正

11月8日、理事会を高岡市立美術館で開催



1980 昭和55年

◇新規加盟 富山県立近代美術館 **加盟30館**

2月5日、理事会を高岡市立美術館で開催

3月15日、職員研修会を高岡市立博物館で開催

3月25日、『博物館協会会報』第2号を発行

5月27日、総会を富山市立郷土博物館で開催

6月19日～20日、第22回北信越博物館研究協議会を富山県民会館で開催

・講演会「博物館の現状と課題」講師：加藤有次氏（国学院大学教授）



1981 昭和56年

56 豪雪

◇新規加盟 水見市立博物館 **加盟31館**

1月14日、職員研修会を富山市科学文化センターで開催

3月10日、理事会（役員改選打ち合わせ会）を富山市科学文化センターで開催

3月25日、『博物館協会会報』第3号を発行

5月12日、総会を富山市科学文化センターで開催

・三代会長・長井真隆、事務局・富山市科学文化センター
・予算 301,000円、決算 298,210円

1982 昭和57年

◇新規加盟 自然博物園センター「ねいの里」、棟方志功記念館「愛染苑」／退会 武田家 **加盟32館**

1月26日、職員研修会を富山市科学文化センターで開催

・講演会「ヨーロッパの博物館事情」講師：定塚武敏氏（高岡市立美術館・博物館館長）

3月25日、『博物館協会会報』第4号を発行

5月21日、総会を富山市科学文化センターで開催

1983 昭和58年

「にっぽん新世紀博覧会」開催、太閤山ランドオープン

◇新規加盟 百河豚美術館、砺波郷土資料館 **加盟34館**

2月3日、職員研修会を富山市科学文化センターで開催

・講演会「図書館人からみたヨーロッパの博物館」講師：辻沢与三氏（富山市立図書館館長）

3月25日、『博物館協会会報』第5号を発行

5月24日、総会を富山市民俗民芸村で開催

12月6日、職員研修会を高岡市立博物館で開催

1984 昭和59年

◇新規加盟 富山市ファミリーパーク、大山町歴史民俗資料館 **加盟36館**

2月24日、職員研修会を魚津水族館で開催

3月25日、『博物館協会会報』第6号を発行

5月18日、総会を富山市立図書館で開催

9月12日、職員研修会を本法寺で開催

11月15日、職員研修会を氷見市立博物館で開催

12月21日、二十年史第1回編集委員会を富山市科学文化センターで開催

1985 昭和60年

◇新規加盟 桂樹舎和紙文庫、富山県警察資料展示室 **加盟38館**

1月22日、二十年史編集座談会を高岡市立美術館で開催

1月23日、二十年史編集座談会を富山市科学文化センターで開催

2月27日、二十年史第2回編集委員会を富山市科学文化センターで開催

3月25日、『富山県博物館協会二十年史』を発行（1,100部）、座談会「県博協二十年に想う」、座談会「これからの県博協」、博物館協会年表などを掲載。（会報第7号を兼ねる。）

4月16日、理事会を富山市科学文化センターで開催

5月10日、総会を富山市科学文化センターで開催

5月28日～29日、第27回北信越博物館協議会総会・研究協議会を富山市科学文化センターで開催



・講演会「地域文化とこれからの博物館」講師：長井真隆氏（富山市科学文化センター館長）

10月2日、職員研修会を朝日町宮崎自然博物館で開催

・講演会「宮崎自然博物館と富山市科学文化センターとのつながりについて」講師：布村昇氏（富山市科学文化センター主任学芸員）

・講演会「宮崎自然博物館について」講師：九里道守氏（宮崎自然博物館館長）

11月7日、職員研修会を井波歴史民俗資料館で開催

・講演会「天文の普及教育について」講師：渡辺誠氏（富山市科学文化センター学芸員）

・講演会「創造的生活を楽しむための子供美術館づくりについて」講師：大谷和子氏（大谷和子子ども美術館館長）

・講演会「地方の博物館の運営について」講師：岩倉節郎（井波歴史民俗資料館館長）

1986 昭和61年

社会教育審議会社会教育施設分科会が「社会教育施設におけるボランティア活動の促進について（報告）」をまとめる

◇新規加盟 富山県交通公園安全博物館、黒部市吉田科学館／退会 河内美術館 **加盟39館**

3月25日、『博物館協会会報』第8号を発行

5月13日、総会を富山市科学文化センターで開催

10月3日、職員研修会を自然博物館「ねいの里」で開催

・講演会「環境教育の実践について」講師：湯浅純孝氏（自然博物館「ねいの里」館長）

12月4日、職員研修会を富山県交通公園交通安全博物館で開催

・講演会「交通安全と博物館活動について」講師：清水昭作氏（富山県交通公園交通安全博物館館長）

1987 昭和62年

◇新規加盟 樺平ビジターセンター、黒部川電気記念館 **加盟39館**

3月25日、『博物館協会会報』第9号を発行

5月20日、総会を富山市科学文化センターで開催

・富山県博物館協会規約を一部改正施行

9月18日、第1回職員研修会を富山市ファミリーパークで開催

・講演会「動物園の目的と利用」講師：山本茂行氏（富山市ファミリーパーク主査）

10月21日、第2回職員研修会を樺平ビジターセンター、黒部川電気記念館で開催

1988 昭和 63 年

北陸自動車道全線開通（新潟黒崎～米原）

◇新規加盟 井波美術館、立山砂防資料館、我楽庵、のらくろ兵舎 **加盟45館**

3月31日、『博物館協会会報』第10号を発行

5月10日、総会を富山市科学文化センターで開催

10月20日、職員研修会を平村立相倉民俗館、上平村五箇山民俗館、民俗資料館村上家、行徳寺で開催



1989 平成元年

◇新規加盟 庄川美術館、猪谷関所館、福岡町歴史民俗資料館 **加盟48館**

3月31日、『博物館協会会報』第11号を発行

5月19日、総会を富山県立近代美術館で開催

・四代会長・楠頭秀、事務局・富山県立近代美術館

7月7日、理事会を高岡市立美術館、前期職員研修会を高岡市立博物館で開催

・講演会「企画展の運営について」講師：朝倉吉彦氏（高岡市立美術館・博物館館長）

・講演会「博物館の活性化について」講師：加藤淳氏（県教育委員会文化課副主幹）

10月3日、後期職員研修会を立山砂防工事現場で開催

・講師：米島弘司氏（立山砂防工事事務所副所長）

・講師：奥井幸雄氏（立山砂防資料館館長）

11月28日、理事会を富山県立近代美術館で開催



1990 平成 2 年

東西ドイツ統合 帆船海王丸富山公開

社会教育審議会「博物館の整備・運営の在り方について」中間報告（教育普及活動の充実、ニューメディア等実物以外の資料の活用、研究活動の充実、学校教育との連携など）

◇新規加盟 民芸茶屋庵、平村郷土館 **加盟50館**

2月1日、理事会を富山県立近代美術館で開催

3月31日、『博物館協会会報』第12号を発行

4月24日、理事会を富山県立近代美術館で開催

5月9日、総会を富山県立近代美術館で開催

・協会独自の制度として設けられた富山県博物館協会表彰規定に基づく第1回表彰を実施（以後毎年）

5月15日～16日、第32回北信越博物館協議会総会・

研究協議会を富山厚生年金休暇センター（大山町栗栗野）で開催

8月20日、前期職員研修会を庄川美術館で開催

・講演会「小さな美術館の大きな希望」講師：杉森富美吉氏（庄川美術館館長）

8月30日、博物館ガイド平成2年秋号を発行

・平成2年度より県教委からの受託事業として年2回、各1万部を発行（委託金40万円）

現在の「とやまミュージアムガイド」は、県文化課からの受託事業として発行していた「博物館ガイド」（平成2年～）が前身になっています。平成7年には県下の全小中学生に配布といった取り組みもありました。その後、平成10年3月から一時期は書籍『とやまの博物館を楽しむ』（博物館協会編集協力）の巻末付録サイズで製作されました。平成13年からは再び独立した印刷物として発行、平成16年からは「とやま博物館ガイド」として内容の充実をはかり、平成16年から18年には巻末に「富山県まるごとスタンプラリー」も掲載しました。時代の変化の中でさまざまに形を変えながら、今日まで引き続き好評をいただいています。

11月22日、後期職員研修会を高岡市万葉歴史館で開催

・講演会「越中国府解明の現状と問題点」講師：古岡英明氏（高岡市万葉歴史館研究員）

1991 平成 3 年

「バブル経済」崩壊 ソビエト連邦消滅

◇新規加盟 庄川町水資料館、富山県埋蔵文化センター／退会 我楽庵、のらくろ兵舎 **加盟50館**

3月20日、理事会を富山県立近代美術館で開催

3月31日、『博物館協会会報』第13号を発行

3月31日、博物館ガイド平成3年春号を発行

5月9日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催

9月1日、博物館ガイド平成3年秋号を発行

9月10日、前期研修会を富山県立近代美術館で開催

・講演会「展示・収蔵品の保存・修復について」講師：肥塚隆保氏（国立奈良文化財研究所）

10月29日～30日、協会創立25周年記念事業として後期研修会を県外開催とし、奈良国立博物館「正倉院展」や京都を視察

1992 平成 4 年

「第1回ジャパンエキスポ富山'92」開催

◇新規加盟 高岡市万葉歴史館、庄川民芸館 **加盟52館**

3月31日、『博物館協会会報』第14号を発行
 3月31日、博物館ガイド平成4年春号を発行
 5月13日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催
 8月27日、前期研修会を富山県立近代美術館で開催
 ・「博物館の設計と展示」講師：鈴木規夫氏（文化庁美術
 工芸課文化財管理指導官）
 9月1日、博物館ガイド平成4年秋冬号を発行
 11月25日、後期研修会を富山県〔立山博物館〕で開催
 ・講演会「立山信仰と立山博物館」講師：木本秀樹氏（富
 山県〔立山博物館〕主任）

1993 平成5年

◇新規加盟 うなづき友学館、西田美術館 **加盟54館**
 3月18日、理事会を富山県立近代美術館で開催
 3月31日、博物館ガイド平成5年春夏号を発行
 3月31日、『博物館協会会報』第15号を発行
 5月27日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催
 9月1日、「博物館ガイド」1993年秋冬号を発行（10,000部）
 9月2日、前期研修会を魚津埋没林博物館、魚津水族館で開催
 12月2日、後期研修会を（財）富山美術館で開催
 ・講演会「富山美術館の概要と収蔵品について」講師：水岡郁子学芸員・小久保啓一学芸員（（財）富山美術館）

1994 平成6年

◇新規加盟 福光美術館、朝日町立ふるさと美術館 **加盟56館**
 3月31日、『博物館協会会報』第16号を発行
 3月31日、「博物館ガイド」1994年春夏号を発行（10,000部）
 4月28日、理事会を富山県立近代美術館で開催
 5月20日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催
 ・五代会長・八木近直、事務局・富山県立近代美術館
 ・富山県博物館協会規約を一部改正（任期中に役員が欠けた場合、後任者を充てることを規定）
 9月1日、「博物館ガイド」1994年秋冬号を発行（8,000部）
 9月28日、前期研修会をうなづき友学館、セレネ美術館、黒部川電気記念館で開催
 10月27日、12月20日、県文化課が「博物館事業に係る意見交換会」を富山県立近代美術館で開催し、博物館の活



性化や学芸員研修の強化等について協議（図版は1994年12月5日付北日本新聞）

1995 平成7年

阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件起こる

五箇山の合掌造り集落が世界遺産に指定

月2回の「学校週5日制」実施

◇新規加盟 黒部市美術館、大楽寺、セレネ美術館、砺波市美術館、小矢部市教育研修資料館／退会 日本自動車博物館 **加盟60館**
 2月9日、県文化課が「美術館・博物館ネットワーク推進会議」を富山県立近代美術館で開催
 3月30日、後期研修会をCiCいきいき館ホールで開催
 ・講演会「県博協の回顧と展望」講師：定塚武敏氏（富山県博物館協会第2代会長）
 3月31日、『博物館協会会報』第17号を発行（B5判→A4判に）
 4月13日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催
 ・平成7年度予算額3,442,000円（前年度885,000円）、うち県委託金300万円（前年度40万円）
 4月中旬、「とやま博物館ガイド」発行（B3判オールカラー、23万部作成、県内全小中学生に配布、年1回発行）
 5月18日～19日、第37回北信越博物館協議会総会・研究協議会を高岡市美術館（宿泊：雨晴ハイツ）で開催
 8月下旬、『富山県美術館・博物館関係職員名簿』を発行
 9月20日、理事会を富山県立近代美術館で開催
 11月21日、後期研修会を富山県民会館で開催
 ・講演会「今なぜ博物館なのか」講師：米原寛氏（立山博物館主幹）
 ・講演会と実演「インターネットとは」講師：浦野秀幸氏（NTT富山企業通信システム営業部第一営業担当部長）

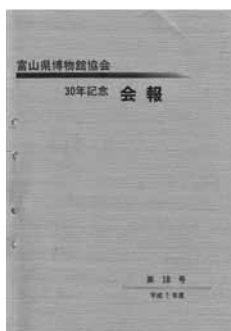


1996 平成8年

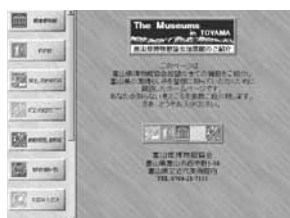
「第13回全国都市緑化とやまフェア」、「第11回国民文化祭とやま'96」が開催

3月31日、『博物館協会会報』第18号を発行
 ・30年記念号として県教育委員会教育長の祝辞、寄稿「県博協の回顧と展望」（平成7年度後期研修会での定塚武敏氏講演の抄録）などを掲載

3月31日、「富山の美術館・博物館日帰りガイド」を発行
 5月28日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催
 12月13日、理事会を富山県立近代美術館で開催
 12月、協会ウェブサイト（ホームページ）を開設



富山県博物館協会ウェブサイトは平成8年12月に開設されました。現在では多くの博物館で公式ホームページを持っていますが当時はまだ珍しく、全国各県の博物館協議会でも先進的な取り組みとして、まだ自前のホームページがなかった各博物館のインターネットでの情報発信に大きな役割を果たしました。平成12年にはデザインを一新、平成16年3月には文化庁「芸術拠点形成事業」の助成を受け、協会ウェブサイト内に英・韓・中・露の4カ国語版を開設しました（現在はなくなっています）。平成17年には独自ドメイン「museums.toyamaken.jp」を県の協力により取得。さらに平成25年3月には文化庁「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」の補助金交付を受け、クラウド型情報入力機能により加盟館自身による最新情報の更新を可能にし、より迅速な情報発信をサポートしました。画面表示は2か国語表記とし、PC、スマホ、タブレットに対応しています。



1997 平成9年

瑞龍寺が国宝（県内初）に指定

◇新規加盟 立山カルデラ砂防博物館、入善町下山芸術の森発電所美術館、立山町郷土資料館／退会 民芸茶屋庵 **加盟62館**

3月25日、研修会を富山県民会館で開催
 ・講演会「博物館活動を考える—私の体験から」講師：久泉迪雄氏（高岡市美術館館長）
 3月31日、『博物館協会会報』第19号を発行
 5月14日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催
 7月、『富山県美術館・博物館関係職員名簿』を発行
 9月26日、理事会、前期研修会を砺波市文化会館、砺波市美術館で開催

1998 平成10年

長野冬季オリンピックが開催

「公立博物館の設置及び運営に関する基準」の一部改正（公立博物館の学芸員定数規定の廃止など）

◇新規加盟 富山県水墨美術館、ほたるいかミュージアム、大島町絵本館 **加盟65館**

1月24日、後期研修会を富山県立近代美術館で開催
 ・講演会「博物館をめぐる諸問題」講師：大塚和義氏（国立民族学博物館第一研究部教授）

3月31日、「とやま博物館ガイド」（加盟館行事予定平成10年度）を発行

3月31日、『博物館協会会報』第20号を発行

3月31日、『とやまの博物館を楽しむイラストガイド』に編集協力、楓工房より出版（同書の付録として「とやま博物館ガイド」（加盟館行事予定平成10年度）を刊行、今日の「とやまミュージアムガイド」に至る）



4月、『富山県博物館協会加盟館職員名簿』を発行

5月26日、理事会、総会を富山県立近代美術館で開催
 ・六代会長・山口松蔵、事務局・富山県立近代美術館

9月25日、理事会を大島町絵本館で開催、前期研修会をミュージアム・バススクール「新規加盟館見学ツアー」として大島町絵本館、立山カルデラ砂防博物館、ほたるいかミュージアムを視察

10月7日、ミュージアム・バススクール「自然のふしぎ探索ツアー」を開催し、立山カルデラ砂防博物館、魚津埋没林博物館、魚津水族館、ほたるいかミュージアムを視察

11月11日、ミュージアム・バススクール「歴史をたどる古寺ツアー」を開催し、本法寺博物館、行徳寺赤尾道宗遺徳館、長恩山大楽寺を視察

1999 平成11年

◇新規加盟 富山県国際健康プラザ生命科学館、富山県中央植物園、新湊市博物館、坂のまち美術館、井波彫刻総合会館、大門町陶房匠の里／退会 富山県警察資料展示室 **加盟70館**

3月12日、理事会、後期研修会を富山県立近代美術館で開催

・講演会「日本の美術館・博物館の現状と県内の美術館・博物館活動のあるべき姿」講師：石丸正運氏（砺波市美術館館長）

3月31日、平成11年度行事予定を発行